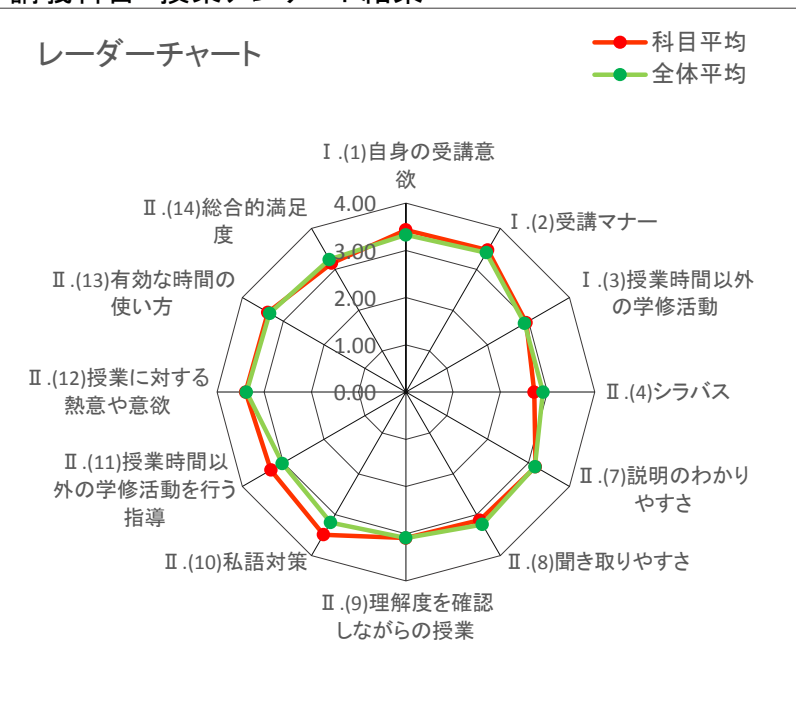
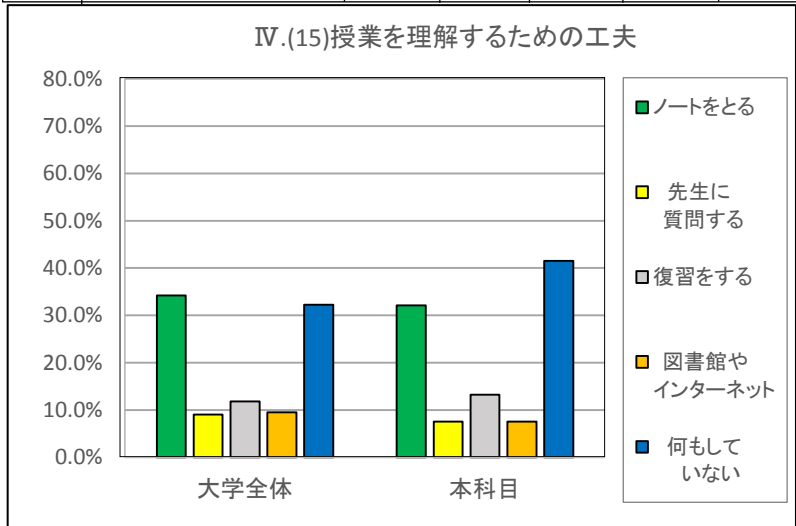


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	32.1%	7.5%	13.2%	7.5%	41.5%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	24104
科目名	社会の理解
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.43	3.33
	I.(2)	3.47	3.41
	I.(3)	2.94	2.91
講義内容・方法	II.(4)	2.72	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.17	3.16
	II.(8)	3.13	3.24
	II.(9)	3.09	3.09
	II.(10)	3.49	3.19
	II.(11)	3.30	3.03
	II.(12)	3.40	3.38
	II.(13)	3.38	3.33
	満足度	II.(14)	3.15

①授業計画の達成度について  
 昨年度と異なり、今年度はA・Bクラスの編成が教員希望者と非希望者に分けられなかったため、非常に授業がやりやすく受講意欲が高かった。計画の達成向上を図るために、教科書の内容要点を毎回レジメとパワーポイントの併用を行ったので、教員側からすれば計画の達成度は満足のいくものであった。

②授業の進め方について  
 授業の進め方で昨年度と変えたのは、講義10回で教科書を終わることが出来た。その後の11回から14回までは授業日でその視聴(現職教員の授業)とそれに使用された学習指導案を活用しながら授業分析を学生中心に授業検討会を進めた。学生の声として、「現場の授業風景を見れたこと」を挙げてくれた学生がいた。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.28	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.21	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.15	3.24
III.(14)		

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 このクラスには、「すべてが不満」というような記述をするような学生はいなかったが、「熱心に指導してくれる点」が評価できると記述してくれた学生がいたことには、やりがいがあったと思っている。ただ指導案の作成が難しかったと記述した学生がいたので、今後の課題としたい。